



さくらんぼだよ

1月号

平成30年1月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

保護者の皆様は、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末、小さいクラスの子どもたちが数人胃腸炎に罹り、感染症の流行が心配されましたが、大きな流行もなく、発表会、餅つきを無事に行うことができました。

年末年始の慌ただし中、東の間の休みではありましたが、おとうさん、おかあさん、また、おじいちゃんやおばあちゃん達と一緒に、日本古来の伝統となっている「お正月」を過ごし、子どもたちにとっては貴重な時間となったのではないのでしょうか。

冷たい北風が吹き、小雪がちらつく中でも、ほっぺを真っ赤にしながら元気いっぱい、園庭で走りまわる子どもたちを見ると、また一段と心も身体もたくましく成長したことを感じます。

巷では、インフルエンザ等で学級閉鎖になっているということも聞きます。幸い、園ではまだ流行はしていませんが、体を温めたり、風の予防になる成分が多く含まれている冬野菜をとりいれた食事を心がけ、油断することなく、過ごしていきたいと思ひます。

また、インフルエンザ、感染性胃腸炎(嘔吐下痢症)などの感染症は、“もらわない！”“あげない！”をモットーに、お互いに気を付け、人込みの中はできるだけ避け、外から帰ったら、うがい、手洗いを忘れずにおこなっていきましょう！

1月11日(木)の5歳児スイミー組の懇談会を皮切りに、各クラスの懇談会が始まります。1年間の子育てを振り返り、保育の成果や成長した姿などを皆さんと共に語り合いたいと思ひます。また、園に対する要望なども聞かせていただければと思ひます。

午後からなので、お休みを取るのが難しい方もいらっしゃるかと思ひますが、是非参加していただきたいと思ひます。

2018・1・1 園長 中館 和子



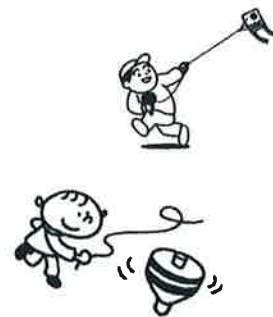
<クラス懇談会について> おしらせ

29年度、最後のクラス懇談会は、午後1:00からとなります。目安としては、2時間ぐらいと思ひていますが、皆さんと共に子どもたちの成長を喜び合い、また進級に向けての話など、時間を気にすることなく、存分に話し合っていきたいと思ひます。是非、出席下さいますようお願い致します。

尚、詳細につきましては後日お知らせ致します。

☆各クラス懇談会の日程

- 1月11日(木) 5歳児(スイミー組)
- 1月16日(火) 4歳児(はらぺこあおむし組)
- 1月26日(金) 3歳児(がらがらどん組)
- 2月 2日(金) 2歳児(ぐりぐら組)
- 2月 9日(金) 1歳児(ノンタン組)
- 2月22日(木) 0歳児(いいおかお組)



おねがい

<発熱後の登園について>

* 風邪等、体調不良で登園の場合、個別対応で保育を行います。最低基準の中での保育士配置となっているため、個別対応が困難な場合もあります。集団保育の中では、感染が拡大することもありますので、体調不良の時には無理をすることのないよう、ご協力をお願いします。

行事予定

1月			2月		
日	曜日	行事	日	曜日	行事
5	金	おたより発行・発育測定	1	木	おたより発行・2歳児懇談会
10	水	避難訓練	2	金	豆まき会
11	木	5歳児懇談会	6	火	発育測定
16	火	4歳児懇談会	9	金	1歳児懇談会
23	火	誕生会	16	金	避難訓練
26	金	3歳児懇談会	22	木	0歳児懇談会
			23	金	おにぎりパーティー

子どもの心をはぐくむ言葉



2018・1・1

「いいってどんなこ？」という絵本があります。うさぎの坊やが、おかあさんにいいってどんなこ？って次々たずねていきます。おかあさんは、それに対して一つ一つやさしく丁寧に応えていきます。そして、最後に、うさぎのぼうやがおかあさんに聞いたことは「じゃあ、おかあさんは、ぼくがどんな子だったらいちばんうれしい？」ということでした。おかあさんのこたえは「あなたがあなたらしくしてくれるのがいちばん！だって、おかあさんは今のあなたが大好きだから……」……。

子どもは大人が思っている以上に「親にいい子であると思われたい」と願っている、ということを知ったことがあります。「どんなこだったらいちばんうれしい？」の言葉がそのことを如実に表しているように思います。



毎日時間に追われながら過ごしていると、子どもとゆっくり向き合い語り合うことが難しいと思ってしまうがちですね。でも親子、特におかあさんとは毎日たくさんのおしゃべりをしていますよね。子どもの声に耳を傾け、うなずいたり、笑ったり、時には何を言ってるか分からず聞き返しては子どもを怒らせたり……。でも、子どものありのままの姿を受け止め、認めながらこうした言葉のやりとりを日々繰り返し行なうことで、その積み重ねが、子どもの心の中に大きな自信となり、様々な事をやってみようとする意欲へと繋がっていくのではないのでしょうか。自己肯定感の低さから、人との関わりも難しくなっている人が多くなってきている、とも言われていますが、乳幼児期から大きな心で愛されることで、子どもたちの心が育まれ、喜びや悲しみなど人としての様々な感情を分かち合える“人間”へと育っていくのではないかと思います。



新年にあたり、今年は、子どもたちの心を育む言葉がけを心していきたいと思えます。



母と子の絵本棚

「てぶくろ」

出版社：福音館

(ウクライナ民話 絵 うちだ りさこ)



おじいさんが落とした手袋…。すると、ネズミがかけてきて「こでくらすことにするは」「だれ？てぶくろにすんでいるのは」「くいしんぼねずみ。あなたは？」「びよんびよんがえるよ。わたしもいれて」「どうぞ！」……この言葉の繰り返し心地よさと共に満杯でも「どうぞ！」と迎え入れる動物たちの寛容さにちょっと心温まるお話です。寒い冬の夜、親子で楽しんでください。



「モクモクの木」 出版社：岩崎書店

さいとう りゅうすけ ・ さく たきだいら じろう ・ え

じさまと暮らす豆太は夜中に一人でオシッコにも行けない弱虫な子。でも、大好きなじさまのために勇気を奮って夜の真暗な道を走る……。真の勇気とは、そして、やさしさ、思いやりとは……。豆太とじさまの心温まる物語となっています。

言いすぎず、叱りすぎず、
自尊心を傷つけずに育てよう、

子育て真っ最中のおかあさんの困りごとランキングなるものをみつけました。

- 1位 かたずけてもすぐに散らかす
- 2位 同じことを繰り返しせがむ
- 3位 寝ない・食べない・食べ過ぎる(お菓子)
- 4位 落ち着きがない
- 5位 できるのにやらない

この他にも、叩く、つねる、気を引こうとする等々、たくさんありましたが、どれも心当たりがあるような……。

そして、こうしたことに対する対応は？となると、またまた様々な意見が出ていましたが、一番多かったのが、イライラしてその感情のまま怒鳴り散らす……。ということでした。でも、そうだろうな、と思う反面、子どもたちにも言い分があることをちょっとわかってあげてほしいな？と誤ってしまいます。親の思いだけで叱るのではなく、ちょっと一呼吸おいて冷静に対応できるといいですね。

わらべうたであそぼう

だいこんつけ だいこんつけ

だいこんつけ だいこんつけ
うらがえし

だいこんつけ だいこんつけ
おもてがえし

* 膝の上で両手をポンポン軽くたたきながら「おもて」「うら」の言葉に合わせて裏返し、表返し、と掌を返す仕草を繰り返し楽しんでください。

